

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ)の実績報告

1 交付金の概要

交付金名	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）	
交付決定	令和6年4月1日（交付申請：令和6年3月29日）	
対象事業費	（交付申請時） 8,000千円	（実績額） 7,728千円
交付決定額 （補助率1／2以内）	（交付申請時） 4,000千円	（実績額） 3,864千円

2 事業の概要

事業名	アウトドアヴィレージるもい整備による観光拠点形成プロジェクト
計画期間	令和5年8月18日から令和8年3月31日まで
事業目的	「道の駅るもい」をアウトドア観光の核とした「稼ぐ観光」へのシフト、インバウンド需要の取り込み、関係・交流人口の増加、若者に魅力ある雇用づくり、アウトドア人材の集積など、新たな観光ビジネスの創出と市民に幅広く還元できるまちづくりを目指す。

3 令和6年度事業内容

(1) るもいアウトドア観光DMO運営支援委託業務

1. るもいアウトドア観光DMOの組織化に係る動き出し

- ・ DMOの組織化に向け、組織イメージを作成した。
- ・ 地域住民に向けた、観光に関する講演会またはシンポジウムを開催した。
また、SNS・ラジオ・新聞・広報誌などを活用した日常的な観光情報発信を実施した。

実施した勉強会は以下のとおり

- ・ 地域連携DMOのKPIイメージや申請のポイントについて
日時：令和7年2月19日（火）13：00～14：00
場所：留萌市役所
参加者数：12名
説明者：きた・北海道DMO、一般社団法人稚内観光協会
- ・ 想定KPIの報告会とデータを活かす場面・見方について
日時：令和7年3月6日（木）15：30～17：30
場所：留萌市役所
参加者数：16名
アドバイザー：北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院

2. 各種データ等の継続的な収集及び分析、仕組み構築に係る検討

アウトドア観光の推進に向けて、旅行消費額や宿泊者数などの関連データの収集に加え、市内事業者へのヒアリングを実施。また、データの収集方法や分析方法の仕組みを検討し、収集したデータに対するKPIの検討、提案を実施。

3. DMOで提供するアウトドア体験商品開発及びガイドの育成・体制づくり

高齢者やこども、若者など、アウトドアに馴染みのない層でも気軽に楽しめ、健康促進や参加者同士の交流の場にもつながるようなアウトドア体験会を実施した。

実施した体験会は以下のとおり。

- ・（株）NutsRV 札幌店モニターキャンプ
日時：令和6年9月29日（日）
場所：道の駅るもい（芝生広場）
参加者数：9名
- ・VANTECH 北海道モニターキャンプ
日時：令和6年10月6日（日）
場所：道の駅るもい（芝生広場）
参加者数：13名

【勉強会やアウトドア体験会開催時の様子】



（2）鉄道遺産移設検討業務

令和5年3月31日をもって廃線となった「留萌本線」の鉄道遺産の活用可能性として、見晴公園に設置されている機関車（D61-3）を道の駅エリアに移設するための調査設計の実施を行った。

1. 「設計書入力データ」「見積用参考資料」の作成

移設工事発注に必要な実施設計書を発注するにあたり、北海道土木積算システムを利用するために作成された「設計書入力データ」「見積用参考資料」の作成。

- ・移設概要としては、大きなクレーン車1台で吊り上げるか、重量クラスを落とした2台の相吊りで吊り上げるかの2パターンを検討し、220t吊りオールレーンクレーン2台での相吊りが最も効率的であると結論付けた。
- ・施工計画概要では、移設工程について検討した他、ルート毎に必要と想定される交通規制、誘導員について掲示した。

2. 工事費等の積算

鉄道移設及び輸送による概算工事費等についての積算を行った。

- ・移設に係る概算工事については3,800万円程度と想定された。
- ・「道の駅安平」の展示保管庫を参考に建屋整備すると概算で1億円と想定された。

【国鉄D61形蒸気機関車】



【最も望ましいとされる移設ルート】



4 令和6年度事業に係る重要業績評価指数（KPI）

	KPI①	KPI②	KPI③	KPI④
	道の駅るもい 入込数	訪日外国人 宿泊客延人数	アウトドア・ アクティビティ 体験者数	道の駅るもい内ショ ップ販売額
当初値 (R5. 3)	358,261人	294人	0人	99,492千円
R6目標値	381,594人 (+13,000人)	414人 (+120人)	100人	112,492千円 (+13,000千円)
R6実績値 (R7. 3)	389,606人 (+31,345人)	937人 (+643人)	243人 (+243人)	135,010千円 (+35,518千円)
達成状況	○	○	○	○

5 現状の課題

令和6年度においては、「るもいアウトドア観光DMO」立ち上げに向けて、外部から講師を招聘し、データの収集方法や分析方法についても検討したところだが、DMO設立の条件が令和7年10月より変更となることから、DMOの設立要件や必要性について、今後改めて検討していくことが必要。

鉄道遺産の活用について、令和6年度の検討により、観光客誘致策等については提案されたが、令和6年度で事業が終了したことから、今後はいかにして形に残せるかが課題となる。

6 令和7年度事業内容

令和6年度の検討結果を踏まえ、下記のとおり事業を実施する。

(1) アウトドアDMO設立支援事業

- ・アウトドアDMOの運営支援
- ・DMOの設立支援及び運営のための街づくりビジョンの策定
- ・アウトドア・アクティビティ拠点施設内のビジターセンターにて提供する体験商品の販売体制の構築
- ・アウトドアアクティビティの必要性についての住民への幅広い周知。

(2) アウトドアアクティビティ人材養成ゲレンデ環境構築事業

- ・留萌のフィールドを活かしたインストラクターの養成事業及び体験事業の誘致を行う。
- ・地域のアウトドア愛好者の連携を協会し留萌地域内でのアウトドアアクティビティの機運醸成を図る。
- ・観光情報サイトを活用し、外国人観光客向けのプロモーションを行う。